

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クラヴィア江坂新築工事	階数	地上13F
建設地	大阪府吹田市江の木町17-6、17-7	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	168 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年9月5日
敷地面積	581 m ²	作成者	積水ハウス株式会社
建築面積	375 m ²	確認日	2014年9月8日
延床面積	4,194 m ²	確認者	積水ハウス株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 72%

③上記+②以外の 72%

④上記+ 72%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
<ul style="list-style-type: none"> ・アースカラーを基調として街並みから突出する事の無いように努め、周辺への圧迫感を和らげるような建築計画とした。 ・住宅性能表示基準における劣化等級3を確保して、躯体材料耐用年数への配慮を行い、断熱材にはA種(ノンフロン)の吹付けウレタンフォームやポリスチレンフォームを採用することで、オゾン層破壊や地球温暖化に対し配慮した。 		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・天井裏・下地・仕上げ・家具類等、F☆☆☆☆の材料で施工することによりシックハウス対策に配慮した。 ・窓を大きく設置して昼光を多く取り入れられるよう配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅の品質確保の促進に関する法律」の評価項目のうち、「劣化の軽減に関すること」において最高等級を確保する方針としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に圧迫感を与えないよう前面道路や隣地境界線に面するところに中高木を植えるなど、周囲との調和を図っている。 ・共用部E.Vホールは開口部から緑地の植栽を眺められ
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電を計画し、二酸化炭素排出の軽減に配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル材を使用したグリーン購入適合品を非躯体材料に採用した。 ・ハロン消火剤を一切使用しない計画とした。 ・断熱材にはA種(ノンフロン)の吹付けウレタンフォームやポリスチレンフォームを採用し、オゾン層破壊や地球 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外照明に関して、広告物照明は設置せず、適正な範囲で計画して外に漏れる光に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)クラヴィーア江坂新築工事		
	建設地	大阪府吹田市江の木町17-6、17-7、17-19		
	用途/区分	集合住宅 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
	太陽光発電		自然エネルギーの利用	
特に配慮した事項				